

項目	内容
名称	ニンジン [英]Wild carrot、Common carrot [学名]野生種 <i>Daucus carota</i> L.var. <i>sativus</i> Hoffm.、栽培種 <i>D.catota.subusp.sativus</i>
概要	ニンジンは食用として日常に食する野菜の一つである。特にβ-カロテンが豊富な代表的緑黄色野菜の一つであり、その栄養的特長により健康によいとされている。別項のオタネニンジン (高麗人蔘) などはウコギ科であり、まったく別種である。
法規・制度	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 食薬区分<ul style="list-style-type: none"><li>・ニンジン (ニンジン油) 根、根の圧縮油：「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料)」に該当する。</li></ul></li><li>■ 日本薬局方<ul style="list-style-type: none"><li>・ニンジン、ニンジン末が収載されている。</li></ul></li><li>■ 食品添加物<ul style="list-style-type: none"><li>・既存添加物</li></ul></li></ul>

ニンジンカロテン (キャロットカロチン/キャロットカロテン/ニンジンカロチン/抽出カロチン/抽出カロテン/カロチノイド/カロチノイド色素/カロチン/カロチン色素/カロテノイド/カロテノイド色素/カロテン/カロテン色素) : 強化剤、着色料

■ 海外情報

・ ワイルドキャロット種子油 : 米国では、GRASに該当する。

成分の特性・品質

主な成分・性質

・ 茎、葉、および種子に精油 (種子はピネンpinene、カプトール、ダウコール、リモネンlimonenなど)、アルカロイド (ダウルシン) を含む。種子油にterpinen-4-olを含む。根にビタミンC、B1、B2、カロテン、糖類、ペクチン、ミネラルを含む。

・ 薬用部分は葉と根 (人参<ニンジン>)。葉には一種の揮発油を含み、葉のような香りがある。アフガニスタン、西トルコ原産、日本へは17世紀に伝わる。花期は春。

分析法

・ 飲料などの品質の指標として、ジアセチルがポーラログラフィーにより分析されている ([PMID:12042016](#))。

有効性

循環器・呼吸器

調べた文献の中に見当たらない。

消化系・肝臓

調べた文献の中に見当たらない。

糖尿病・内分泌

調べた文献の中に見当たらない。

生殖・泌尿器

調べた文献の中に見当たらない。

脳・神経・感覚器

調べた文献の中に見当たらない。

免疫・がん・炎症

調べた文献の中に見当たらない。

骨・筋肉

調べた文献の中に見当たらない。

発育・成長

調べた文献の中に見当たらない。

肥満

調べた文献の中に見当たらない。

その他

調べた文献の中に見当たらない。

参考文献

(22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第2版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳  
 (30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添1、別添2、一部改正について)  
[\(PMID:12042016\) Food Addit Contam. 2002 Jun;19\(6\):519-23.](#)  
[\(PMID:8911702\) Clin Exp Allergy. 1996 Oct;26\(10\):1161-70.](#)  
 (91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS).  
[\(PMID:22016300\) Indian J Dermatol Venereol Leprol. 2011 Nov-Dec;77\(6\):731.](#)  
[\(PMID:28867739\) Biol Pharm Bull. 2017;40\(9\):1561-1565.](#)  
[\(PMID:16415112\) Drug Metab Dispos. 2006 Apr;34\(4\):521-3.](#)  
[\(PMID:22085278\) Pharm Biol. 2012 Feb;50\(2\):254-63.](#)